



㊦ ラサ工業株式会社

2022年3月期 決算説明会資料

2022年6月2日

証券コード：4022

目 次

- 1. 事業概要**
- 2. 2022年3月期実績及び2023年3月期見通し**
- 3. 中期経営計画の進捗状況**

1. 事業概要

事業概要

会社概要

商号	ラサ工業株式会社
本社	東京都千代田区外神田一丁目18番13号
創業	1913（大正2）年 5月 1日
設立	1918（大正7）年 6月 26日
従業員数	600名（連結）

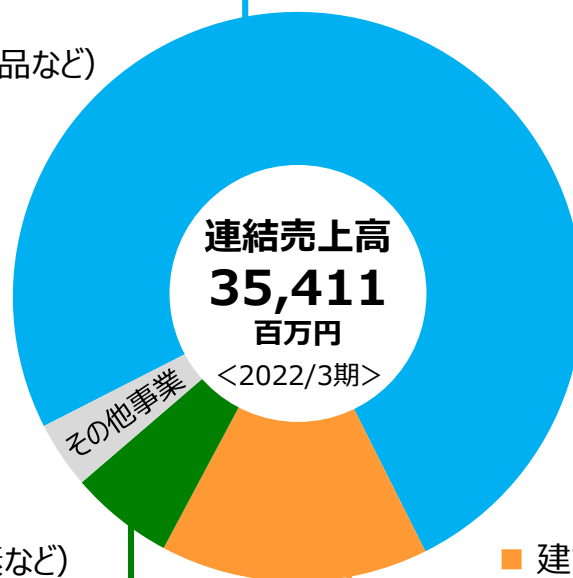
<2022年3月31日現在>

化成品事業 27,585百万円／77.9%

- リン系製品
リン酸（一般品、電子工業向け高純度品など）
リン酸塩など
- 凝集剤（水処理用など）
- その他（コンデンサー向け原料、
消臭剤など）

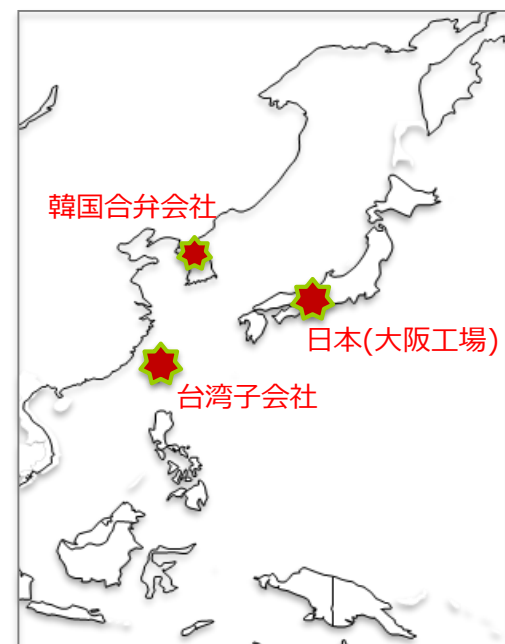
- 化合物半導体向け高純度無機素材
（ガリウム、インジウム、赤リン、酸化ホウ素など）
- 放射性ヨウ素吸着剤

電子材料事業 1,997百万円／5.6%



- 建設機械（破碎機、選別機、粉体機器）
- 土木機械（掘進機（上下水道向け））

機械事業 4,766百万円／13.5%



<半導体向け高純度リン酸の製造体制>

2. 2022年3月期実績及び2023年3月期見通し

2022年3月期 決算概要

- 売上高は、化成品事業における半導体向け・電子部品関連が堅調に推移し、また原料の高騰に対する製品販売価格の是正もあり増収。
- 営業利益は、化成品事業、機械事業において前期比30%を超える増益が寄与し、過去最高益。

(単位：百万円)

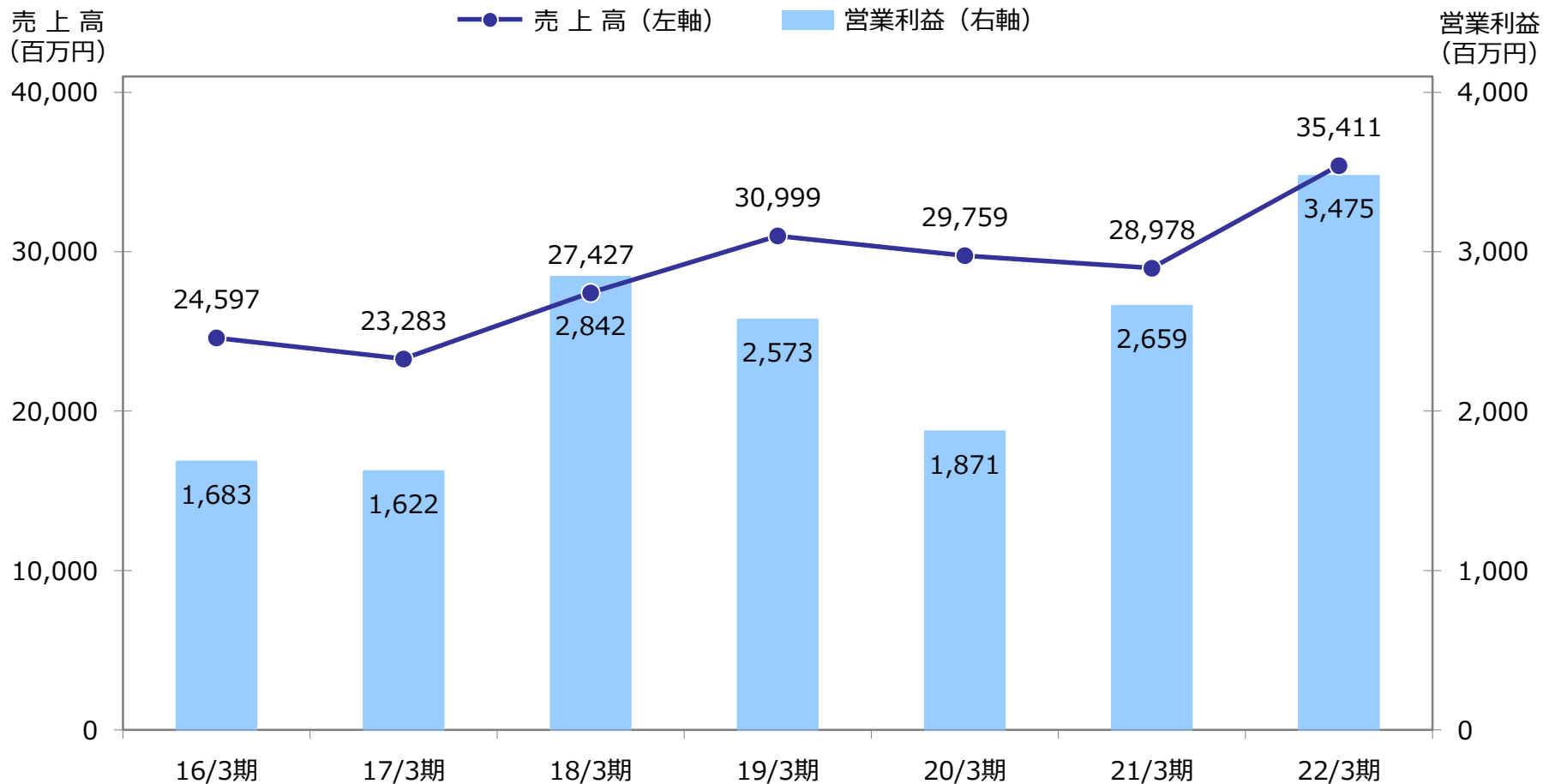
	2021/3期	2022/3期	増減	前年同期比	業績予想 (2021.8.13発表)	増減
売 上 高	28,978	35,411	6,433	22.2%	31,500	3,911
営 業 利 益	2,659	3,475	816	30.7%	2,700	775
経 常 利 益	2,649	3,562	913	34.4%	2,700	862
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	2,004	2,538	534	26.7%	2,100	438
1 株 配 当 金	45.00円	70.00円	25.00円	55.6%	50.00円	20.00円

(減価償却費) 1,487 1,525 38 2.6%

(在庫評価) 269 △ 33 △ 302 -

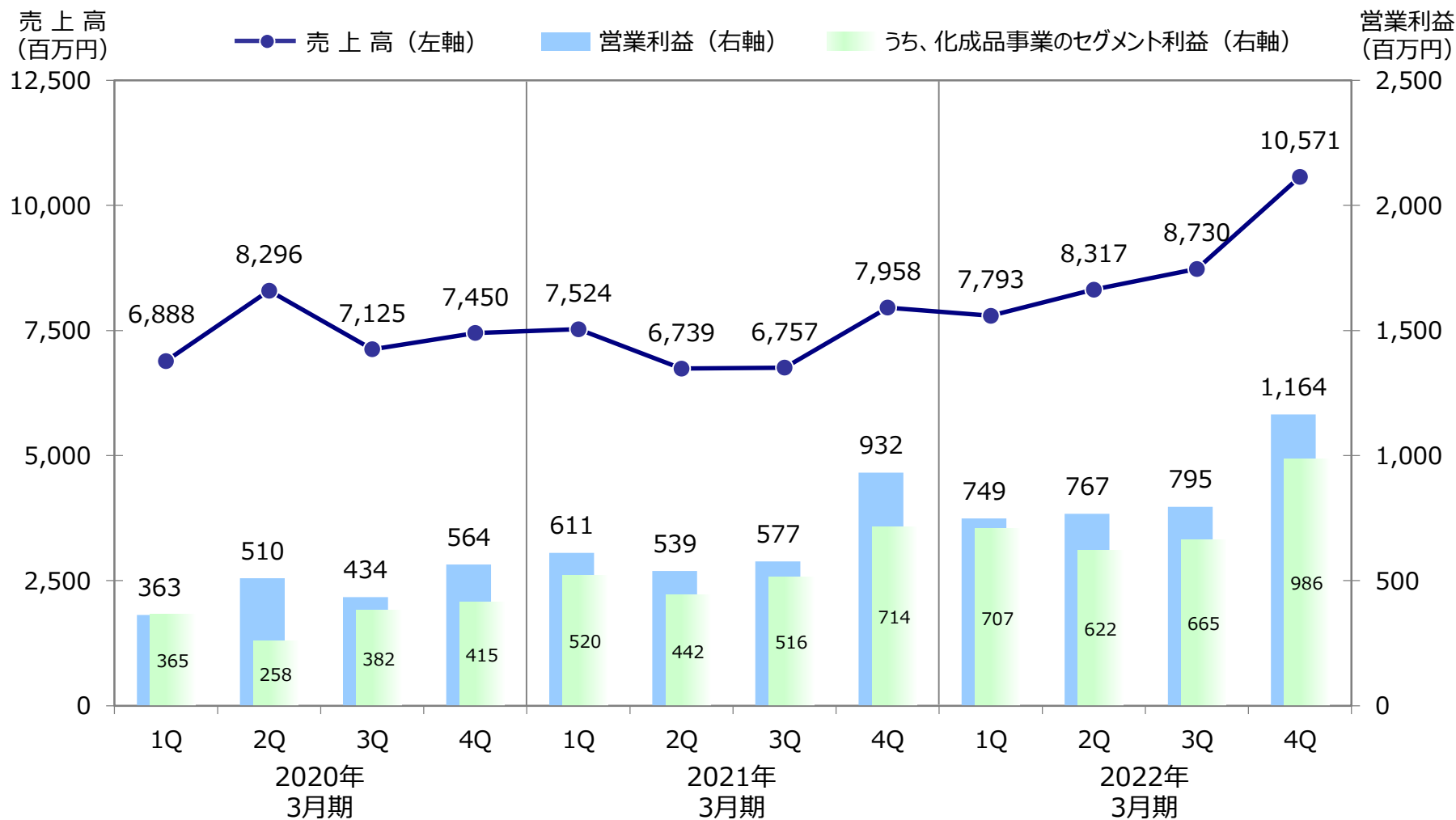
年度業績の推移

売上高と営業利益の推移



四半期業績の推移

四半期売上高と営業利益の推移



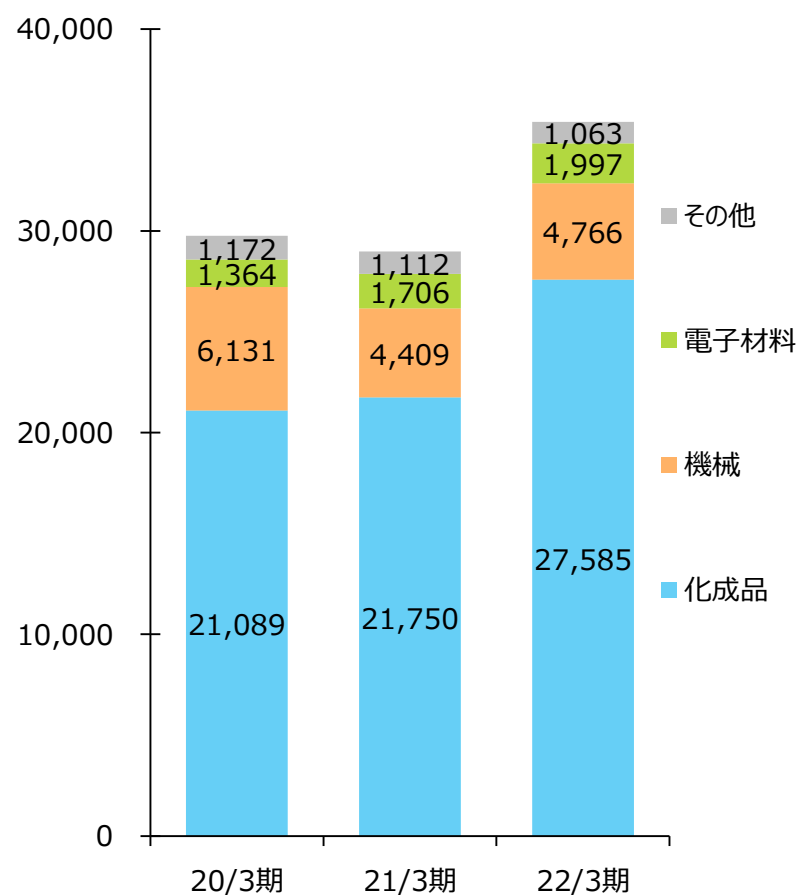
2022年3月期 セグメント別概要（売上高）

売上高の推移

（単位：百万円）

	2021/3期	2022/3期	増減	前年 同期比
化 成 品	21,750	27,585	5,835	26.8%
機 械	4,409	4,766	357	8.1%
電 子 材 料	1,706	1,997	291	17.1%
そ の 他	1,112	1,063	△ 49	△ 4.4%
合 計	28,978	35,411	6,433	22.2%

（百万円）



2022年3月期 セグメント別概要（利益）

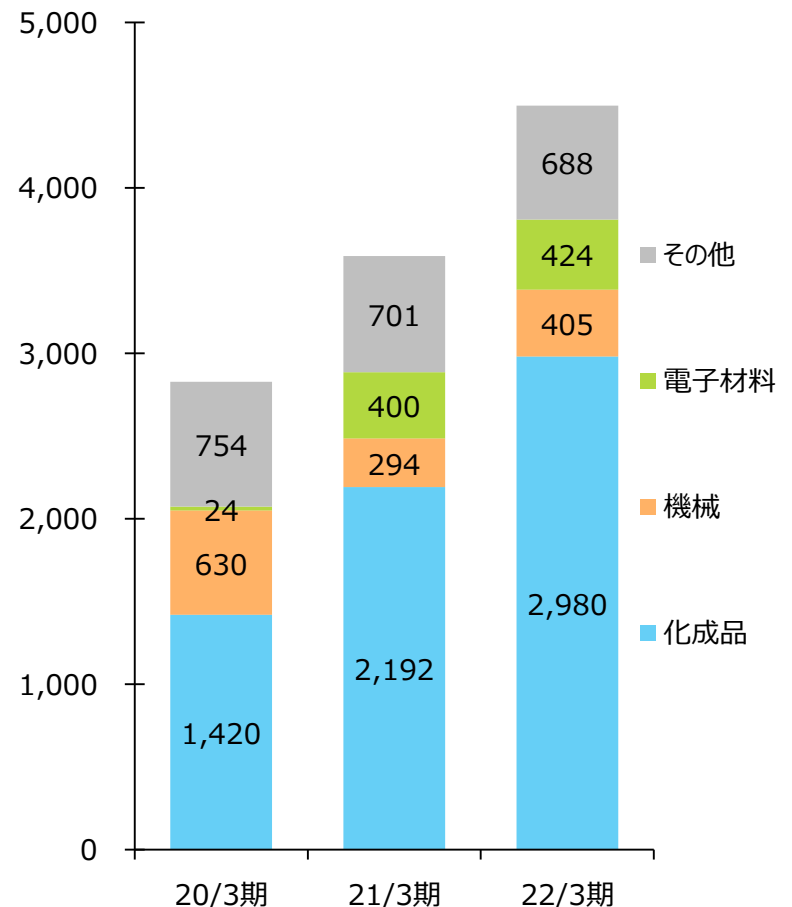
セグメント利益の推移

	2021/3期	2022/3期	増減	前年 同期比
化 成 品	2,192	2,980	788	35.9%
機 械	294	405	111	37.8%
電 子 材 料	400	424	24	5.9%
そ の 他	701	688	△ 13	△ 1.8%
（ 調 整 額 ）	△ 930	△ 1,024	△ 94	—
合 計	2,659	3,475	816	30.7%

（単位：百万円）

（百万円）

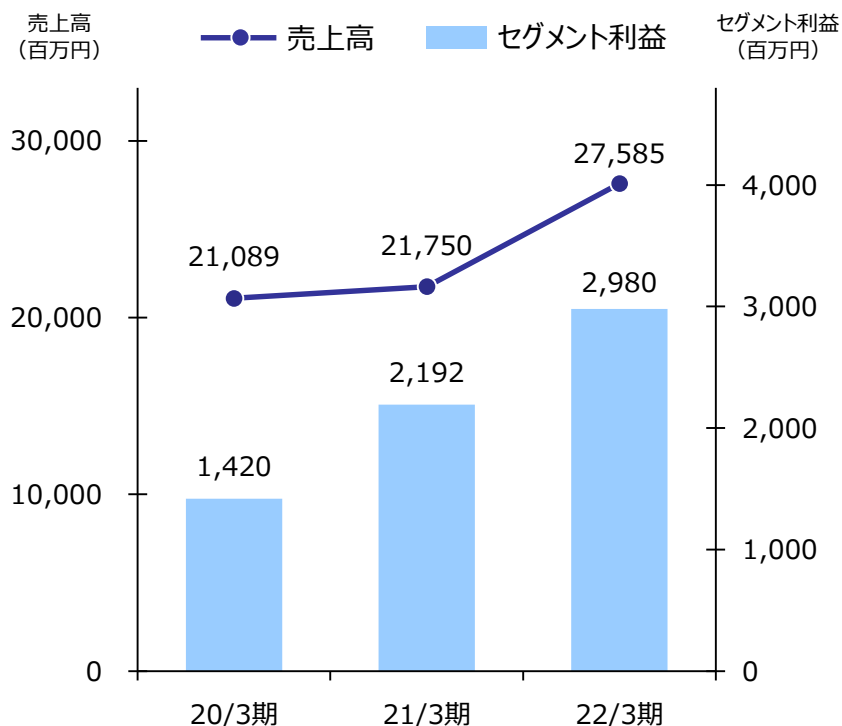
（在庫評価）				
化 成 品	41	34	△ 7	—
機 械	△ 5	△ 73	△ 68	—
電 子 材 料	233	4	△ 229	



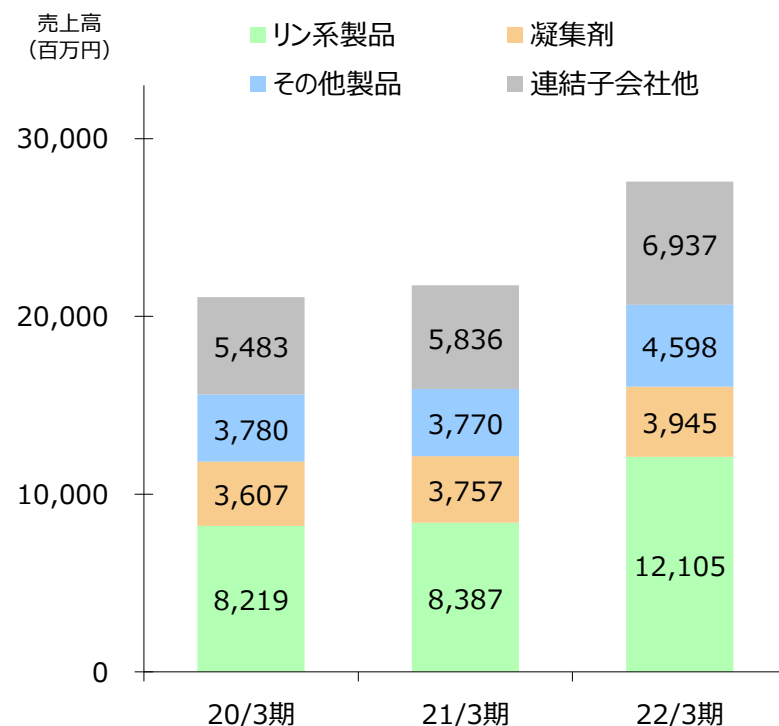
化成品事業

- リン系製品は、電子工業向け高純度品が、国内外共に堅調（連結子会社分を含む）。原料の高騰に対する製品販売価格の是正もあり増収。
- 凝集剤は、エッチング用途向け、上水道向けが堅調に推移し増収。

【化成品事業】 売上高とセグメント利益の推移

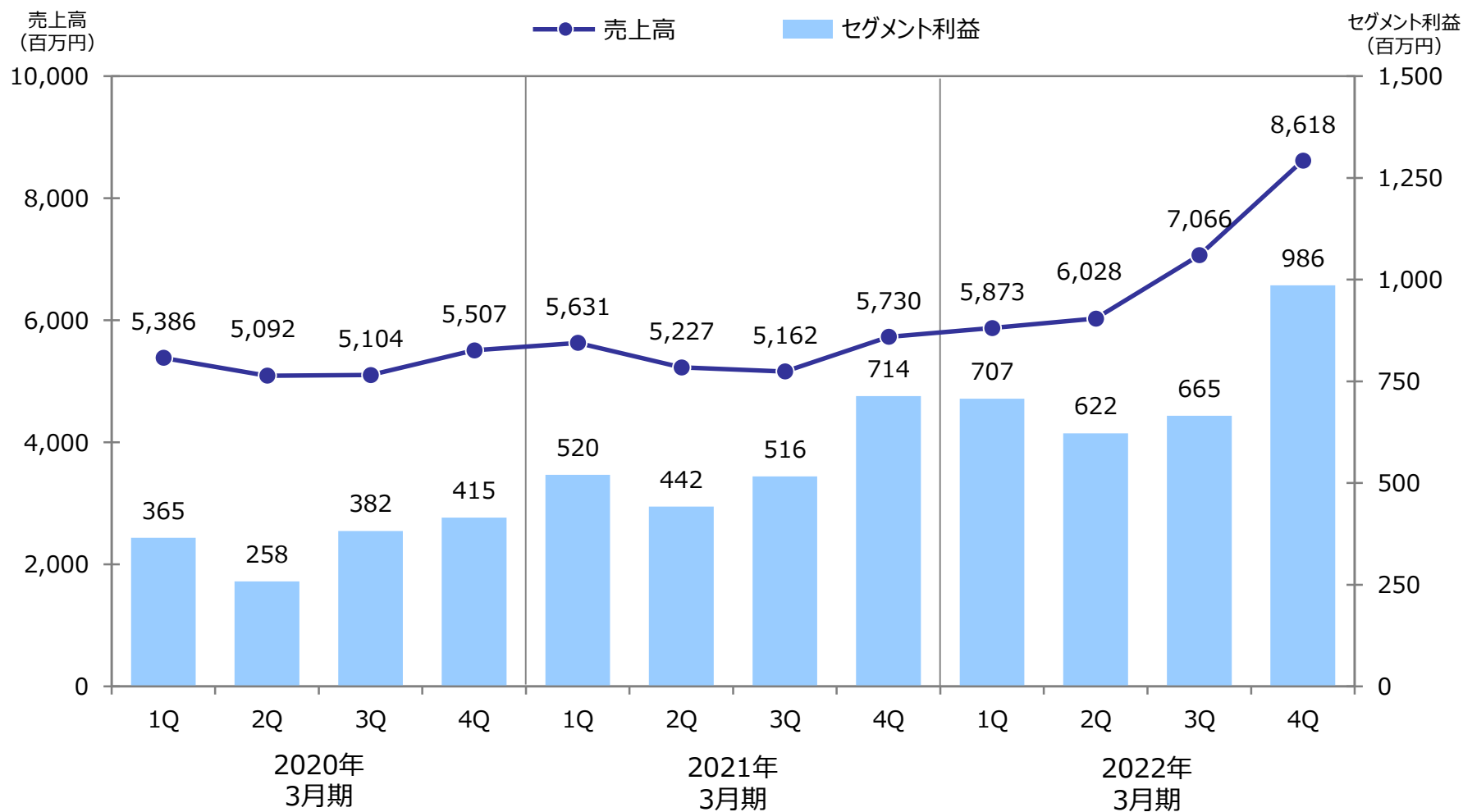


【化成品事業】 製品別売上高の推移



化成品事業（四半期業績）

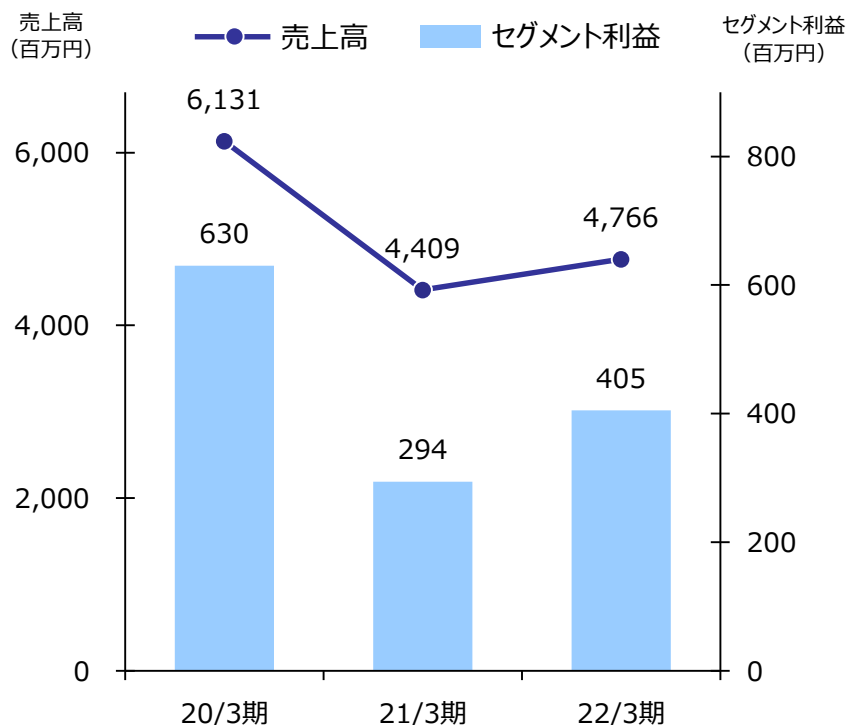
【化成品事業】 売上高とセグメント利益の四半期推移



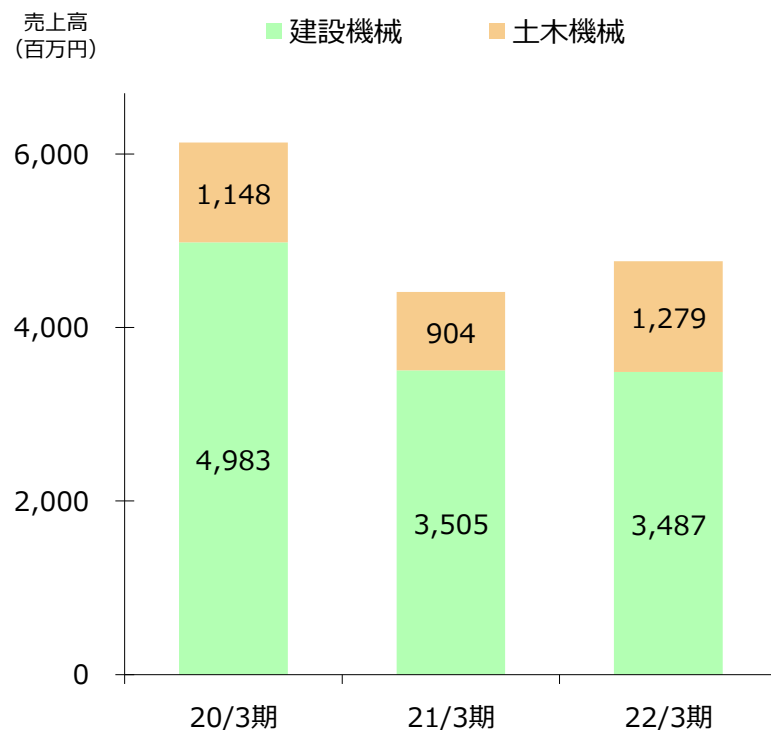
機械事業

- 建設機械は、本体販売は堅調に推移したものの、プラントが減少したことから減収。精密機械加工は増収。
- 土木機械は、国内外の本体販売が増収。

【機械事業】 売上高とセグメント利益の推移

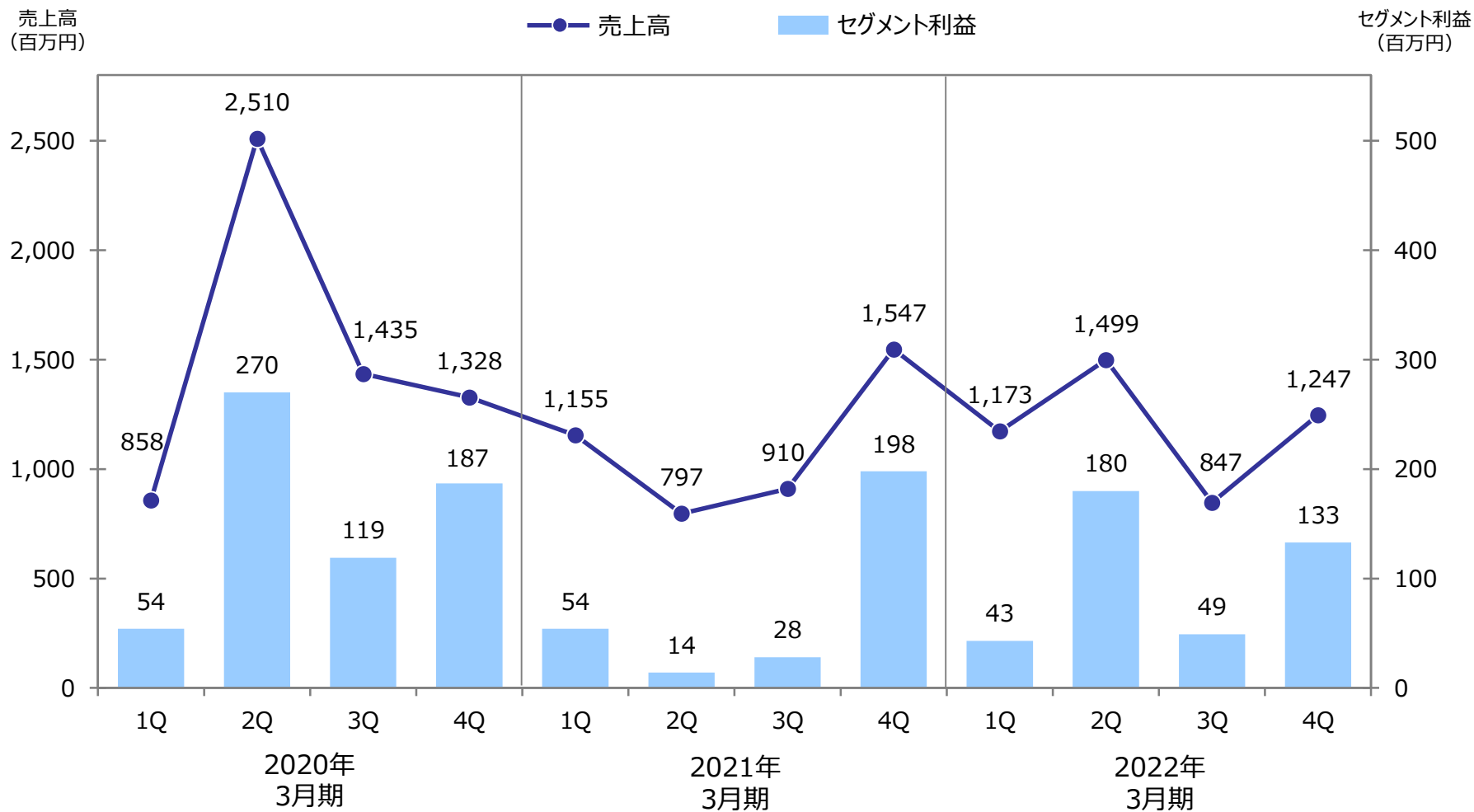


【機械事業】 製品別売上高の推移



機械事業（四半期業績）

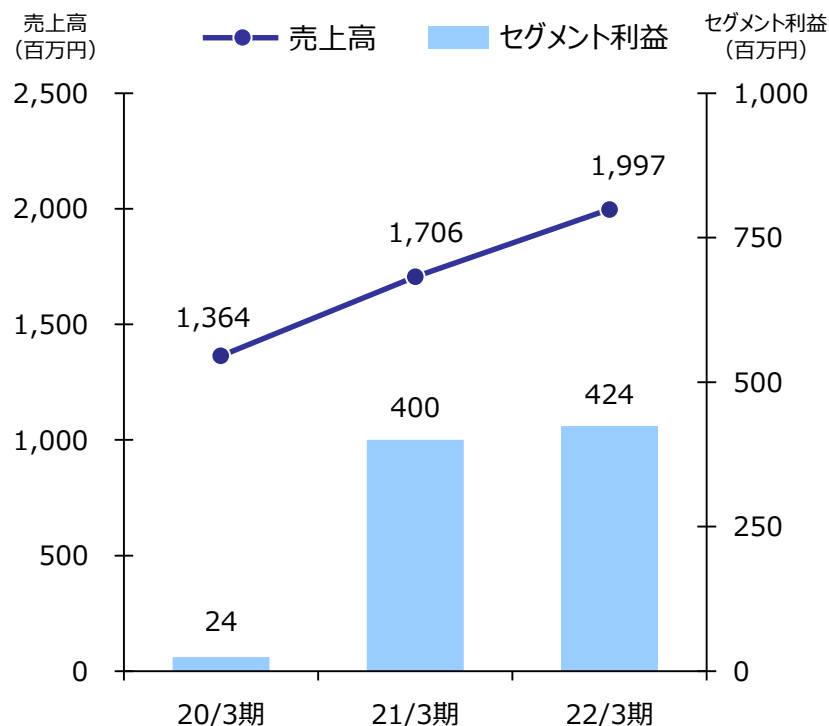
【機械事業】 売上高とセグメント利益の四半期推移



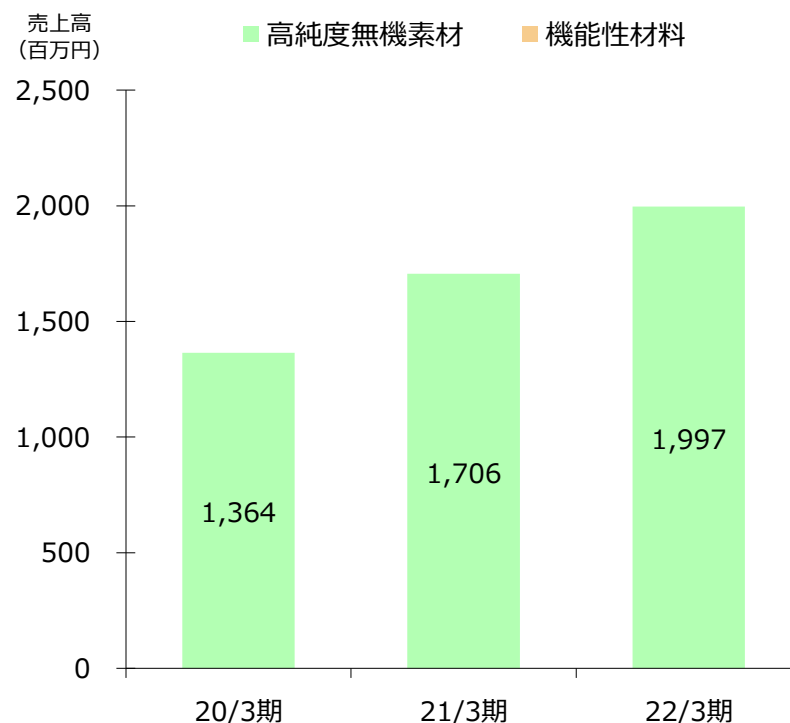
電子材料事業

- 化合物半導体向け高純度無機素材は、ガリウムが伸長し、赤燐、インジウムなどが堅調に推移し、増収。
- 前期に計上のあった在庫評価益要因（233百万円）の剥落、研究開発費の増加、および高純度赤燐工場棟爆発事故の損益影響額が比較的軽微であったこと等を要因に、微増益。

【電子材料事業】 売上高とセグメント利益の推移

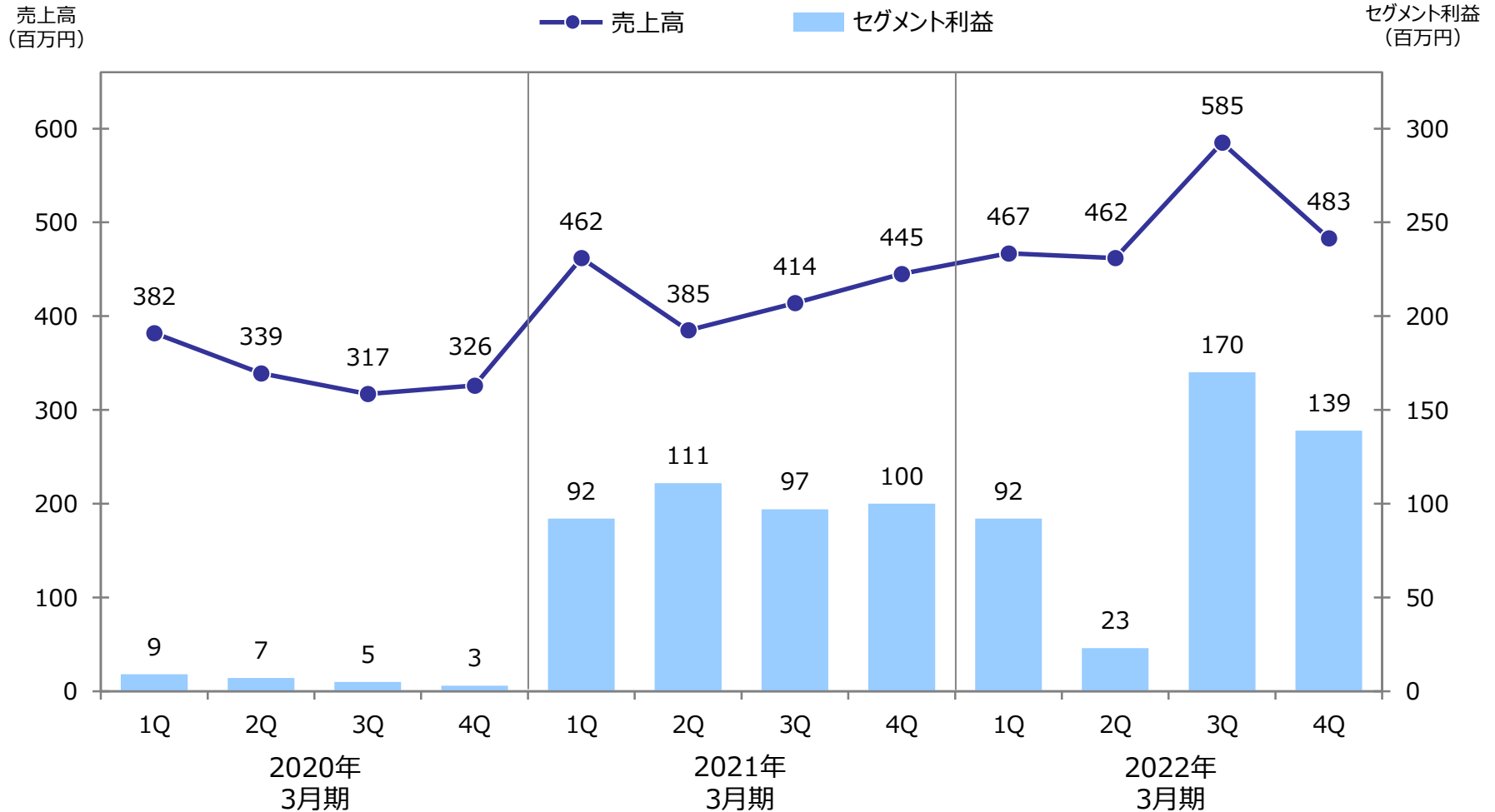


【電子材料事業】 製品別売上高の推移



電子材料事業（四半期業績）

【電子材料事業】 売上高とセグメント利益の四半期推移



損益計算書（連結）

（単位：百万円）

	2021/3期	2022/3期	増減	前年同期比
売上高	28,978	35,411	6,433	22.2%
売上原価	22,049	27,362	5,313	24.1%
販売費・一般管理費	4,269	4,573	304	7.1%
営業利益	2,659	3,475	816	30.7%
営業外収益	377	490	113	30.0%
営業外費用	387	403	16	4.1%
経常利益	2,649	3,562	913	34.4%
特別利益	71	116	45	63.4%
特別損失	58	159	101	174.1%
税金等調整前当期純利益	2,662	3,519	857	32.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,004	2,538	534	26.7%
（減価償却費）	1,487	1,525	38	2.6%

貸借対照表（連結）

（単位：百万円）

	2021/3月末	2022/3月末	増減
流動資産 計	16,024	19,584	3,560
現金及び預金	3,407	3,538	131
受取手形及び売掛金	8,540	10,377	1,837
たな卸資産 ※	3,900	5,337	1,436
固定資産 計	20,904	22,339	1,435
有形固定資産	17,340	18,566	1,226
無形固定資産	51	47	△ 4
投資その他の資産	3,513	3,725	212
流動負債 計	10,449	12,821	2,372
支払手形及び買掛金	3,483	4,264	781
短期借入金	4,708	5,806	1,098
固定負債 計	8,757	8,801	44
長期借入金	5,424	5,337	△ 87
退職給付に係る負債	2,943	3,066	123
純資産	17,721	20,301	2,580
自己資本	17,654	20,206	2,552
非支配株主持分	67	95	28
総資産	36,928	41,924	4,996
＜自己資本比率＞	47.8%	48.2%	+0.4%

※ たな卸資産 = 商品及び製品 + 仕掛品 + 原材料及び貯蔵品

キャッシュ・フロー計算書（連結）

（単位：百万円）

	2021/3期	2022/3期	増減
営業キャッシュ・フロー	2,367	1,996	△ 371
税金等調整前当期純利益	2,662	3,519	856
減価償却費	1,487	1,525	37
売上債権の増減額（△は増加）	△ 369	△ 1,700	△ 1,331
たな卸資産の増減額（△は増加）	△ 383	△ 1,311	△ 928
仕入債務の増減額（△は減少）	△ 322	753	1,075
法人税等の支払額	△ 318	△ 763	△ 445
投資キャッシュ・フロー	△ 1,860	△ 2,322	△ 462
有形固定資産の取得による支出	△ 1,742	△ 2,430	△ 687
財務キャッシュ・フロー	△ 1,825	308	2,133
借入金の純増減額	△ 1,473	701	2,174
現金及び現金同等物 期中増減額	△ 1,329	130	1,459
現金及び現金同等物 期末残高	3,407	3,538	131

2023年3月期の業績予想

- 化成品事業は、半導体向け・電子部品関連の販売増、台湾子会社での増産投資による販売増、および原料高騰に対する製品販売価格の是正により増収を見込むが、原料高や減価償却費の増加等のコストアップにより、小幅な増益を見込む。
- 機械事業は、破碎関連機械においてプラント工事の販売増により、増収増益を見込む。
- 電子材料事業は、ガリウムなどの販売は堅調に推移し、高純度赤燐の生産再開は計画通り進んでいることから（5月31日、一部生産再開）、増収増益を見込む。

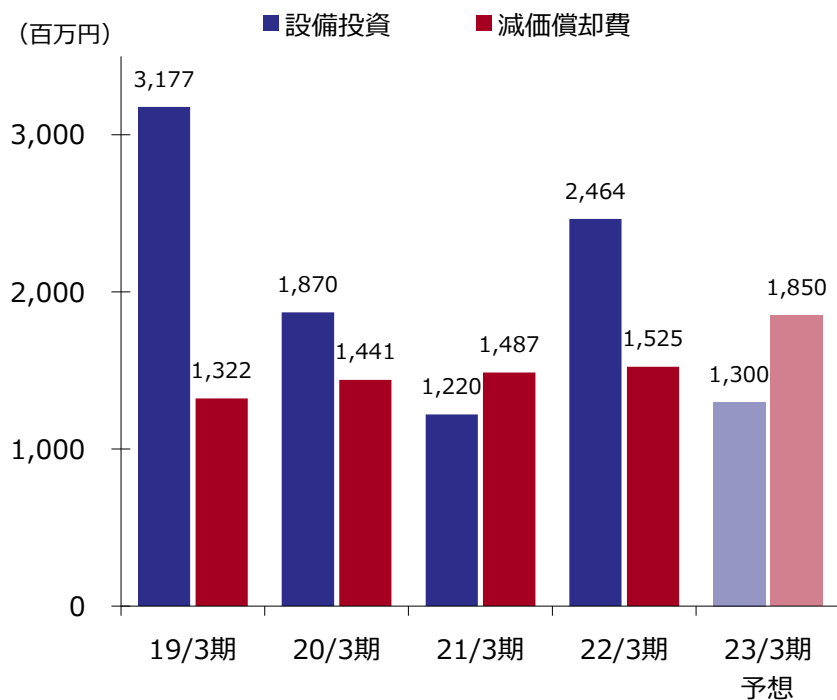
(単位：百万円)

	2022/3期	2023/3期予想	増減	前年同期比
売上高	35,411	42,700	7,289	20.6%
化成品事業	27,585	34,000	6,415	23.3%
機械事業	4,766	5,500	734	15.4%
電子材料事業	1,997	2,100	103	5.2%
その他の事業	1,063	1,100	37	3.5%
営業利益	3,475	3,600	125	3.6%
化成品事業	2,980	3,100	120	4.0%
機械事業	405	500	95	23.5%
電子材料事業	424	450	26	6.1%
その他の事業	688	650	△ 38	△ 5.5%
全社費用など	△ 1,024	△ 1,100	△ 76	7.4%
経常利益	3,562	3,600	38	1.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,538	2,600	62	2.4%
1株配当金	70.00円	70.00円	0	0.0%

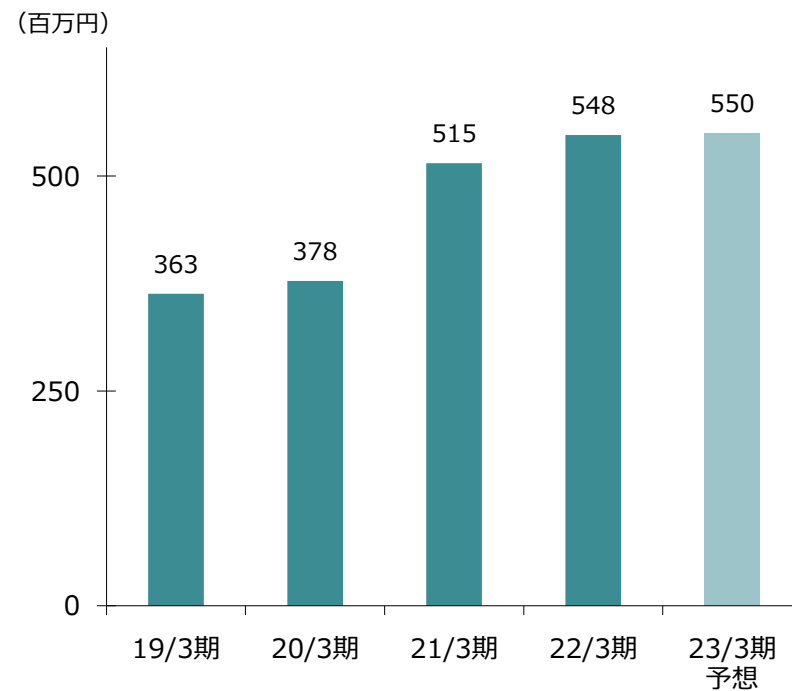
設備投資・減価償却費及び研究開発費の推移

- 設備投資は、2022年3月期に、化成品事業の台湾子会社で、半導体向け高純度燐酸の製造設備を増設（投資額約20億円、台湾の生産能力5割アップ、2022年3月期完工）。2023年3月期は、維持更新投資が中心。
- 研究開発費は、主に電子材料事業において、原子力の安全性・信頼性向上のための研究開発（当社製品：放射性ヨウ素吸着剤等の研究開発）を2021年3月期から継続。

設備投資・減価償却費



研究開発費



3. 中期経営計画の進捗状況

中期経営計画2023（2021～2023年度）の概要

中期経営計画2023

～「次世代への変化に対応した事業戦略の推進と
将来に向けた事業基盤の更なる強化」を目指す～

目 標

1. 連結営業利益 33億円
2. 連結自己資本比率 55%
3. 業績に応じた配当の継続

事業戦略

- 既存事業の強化・領域拡大
- グローバル市場への対応強化
- 新規事業の探索・育成
- 財務体質の更なる強化

中期経営計画2023の事業戦略

【全社方針】

【施策】

既存事業の強化・領域拡大

- 5G・IoT・AI分野需要の着実な取り込み
- 既存事業の中長期ビジョンを踏まえた方針の明確化と実行
- 設備投資の着実な実行と投資回収
- 設備維持保全・安定供給力の向上

グローバル市場への対応強化

- サプライチェーンの分散化への機敏な対応
- 原料調達及びデリバリーの安定確保の強化
- ポストコロナ社会における海外営業スタイルの見直し

新規事業の探索・育成

- 製品開発と営業の連携強化
- ユーザー拡大と高付加価値化

基盤整備

管理体制

- ✓ DXへの取り組み
- ✓ 柔軟かつ機敏な組織体制づくり
- ✓ ESGへの取り組み

人材戦略

- ✓ 多様な人材の育成と採用力強化
- ✓ 変革に対応した人材の再配置・再教育

中期経営計画2023の数値目標 1/2

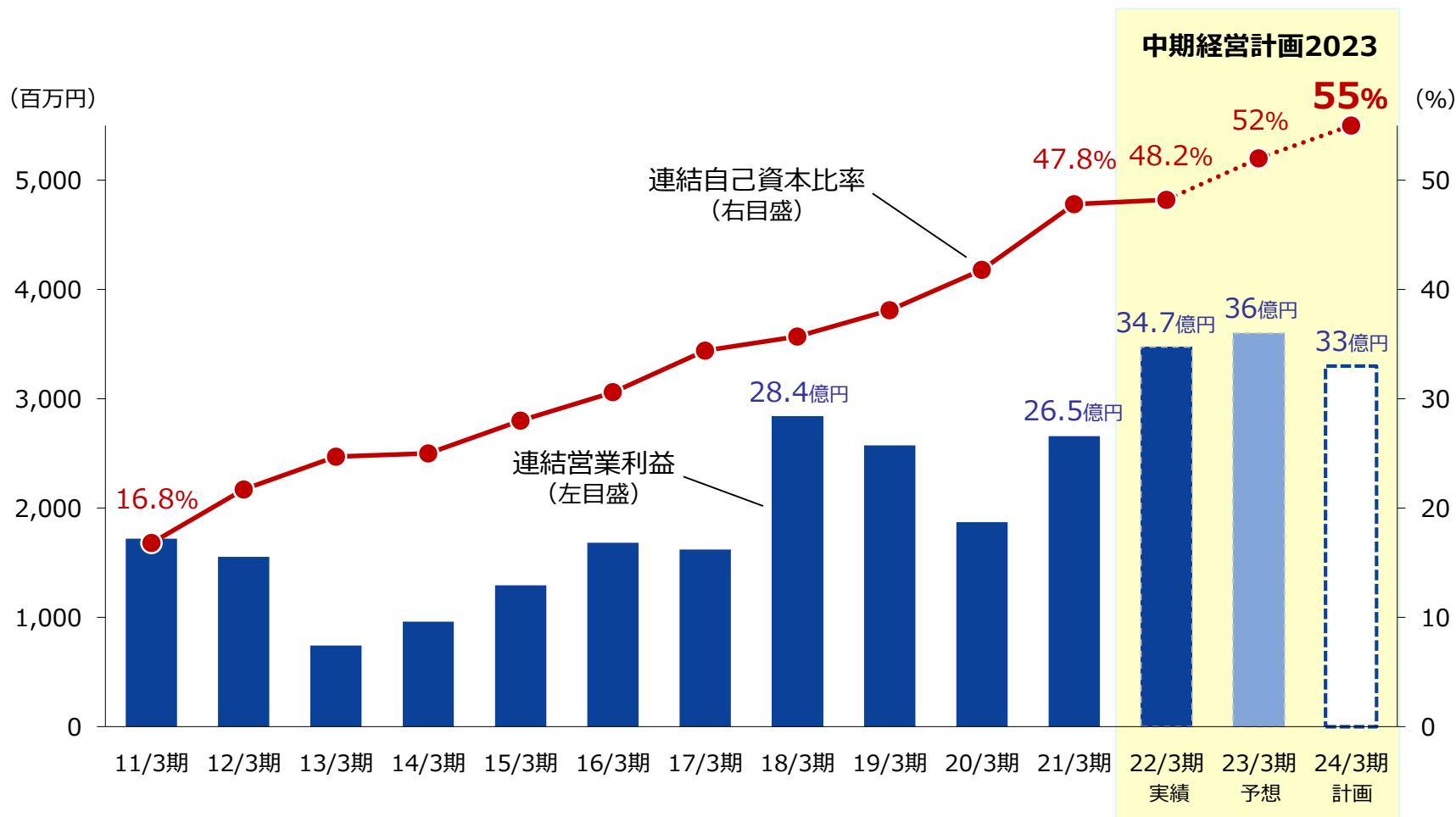
(単位：百万円)

	2021/3期	2022/3期 実績	2023/3期 予想	2024/3期 計画	3か年増減	増減率
売上高	28,978	35,411	42,700	36,000	7,022	24%
化成品事業	21,750	27,585	34,000	27,000	5,250	24%
機械事業	4,409	4,766	5,500	5,700	1,291	29%
電子材料事業	1,706	1,997	2,100	2,100	394	23%
その他の事業	1,112	1,063	1,100	1,200	88	8%
営業利益	2,659	3,475	3,600	3,300	641	24%
化成品事業	2,192	2,980	3,100	2,700	508	23%
機械事業	294	405	500	600	306	104%
電子材料事業	400	424	450	400	0	0%
その他の事業	701	688	650	700	△ 1	△ 0%
全社費用など	△ 930	△ 1,024	△ 1,100	△ 1,100	△ 170	△ 18%
経常利益	2,649	3,562	3,600	3,400	751	28%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,004	2,538	2,600	2,400	396	20%
自己資本比率	47.8%	48.2%	52.0%	55.0%	7.2%	

- 中期経営計画策定時（2021/3期）、新型コロナウイルス感染症の影響による経済見通しが不透明な状況。
- 1年目（2022/3期）において、最終年度（2024/3期）の計画を上回る実績を計上。
- 2年目（2023/3期）予想は、2022/3期に対し増収増益。
- **最終年度（2024/3期）**についても、2023/3期予想の延長線上にあると考えられますが、世界的なインフレ懸念や資源価格の高騰に加え、ウクライナ情勢等の地政学的リスクもあり、依然として先行きに不透明感があるため、現時点では、**計画数値を見直しておりませんが、状況に応じて検討いたします。**

中期経営計画2023の数値目標 2/2

収益力の向上を図るとともに財務体質の一層の強化を目指す



中期経営計画初年度（22/3期）の施策と総括

- ✓ 化成品事業では国内外共に半導体向け高純度品が伸長し、機械・電子材料事業とも堅調に推移したことから、過去最高益を達成。
- ✓ 新型コロナウイルス感染症に伴う海外への渡航制限等により、新規市場開拓がやや停滞。

	化成品事業	機械事業	電子材料事業
施策	・半導体向け高純度リン酸の安定操業および販売増 ・台湾子会社 増産投資の実施 ・新規事業の探索、育成	・震災復興関連の更新需要の取り込み ・下水道向け掘進機の新規市場開拓 ・新規事業の探索、育成	・高純度無機素材－次世代通信需要の開拓 ・放射性ヨウ素吸着剤（AgX）の海外販売 ・新規事業の探索、育成
計画線	・半導体向け高純度リン酸の増産投資（台湾子会社 生産能力5割アップ） ・原料の高騰に対する製品販売価格の是正	・国内市場は回復傾向 ・プラント設備案件の需要の取り込み	・高純度無機素材の需要増への対応と収益改善
やや遅れ	・コンデンサー向け原料増産設備は需要動向を注視し、安定操業を目指す ・消臭剤の様々な用途での製品開発	・新型コロナウイルス感染症の影響で、海外市場開拓進まず ・バイオマス熱利用装置の営業展開	・高純度無機素材の新規需要の開拓 ・放射性ヨウ素吸着剤（AgX）の海外へのアプローチ

重点施策①



<リン酸>

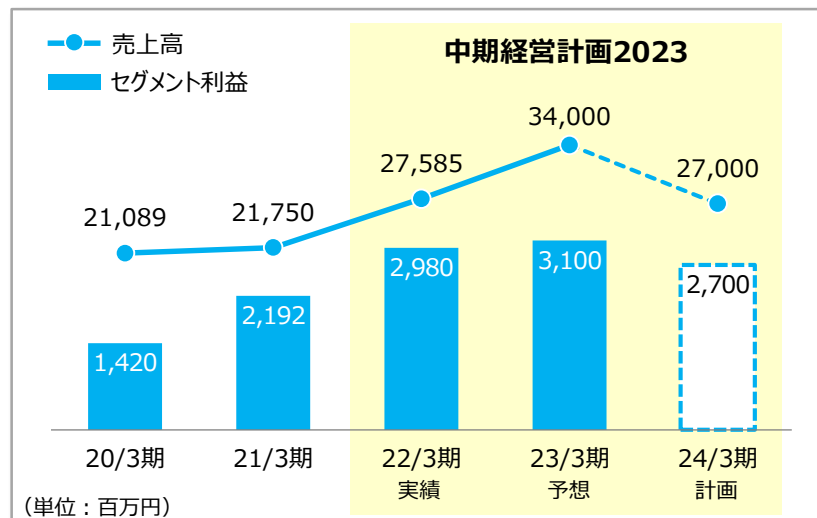


<消臭剤>



<台湾子会社>

化成品事業



■ 5G・IoT・AI 分野需要の着実な取り込み

- ✓ 半導体向け高純度リン酸の安定操業および販売増
- ✓ コンデンサー向け原料増産設備の安定操業と更なる省力化

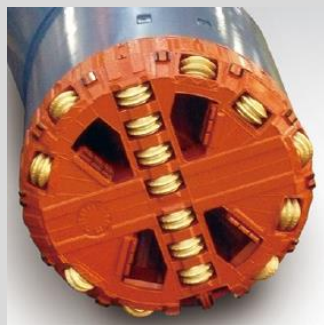
■ グローバル市場への対応強化

- ✓ 台湾子会社 増産設備の安定操業と拡販への対応
- ✓ 韓国合併会社との連携強化

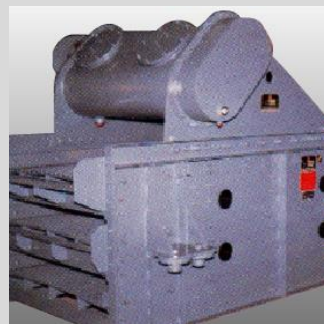
■ ユーザー拡大と高付加価値化

- ✓ 消臭剤の研究開発への注力

重点施策②



＜掘進機＞

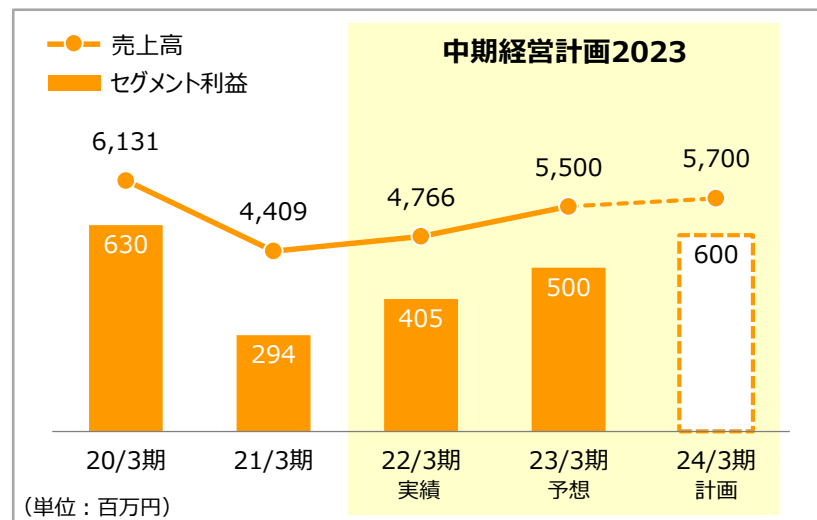


＜選別機＞



＜粉砕機＞

機械事業



■ 既存事業の強化・領域拡大

- ✓ 震災復興関連（中間貯蔵施設、除染関連事業）の更新需要の取り込み
- ✓ プラント設備案件の需要の取り込み

■ グローバル市場への対応強化

- ✓ 海外販売網との関係強化による下水道向け掘進機の新規市場開拓（東南アジア）

■ 新規事業の探索、育成

- ✓ バイオマス熱利用装置の新たな営業展開

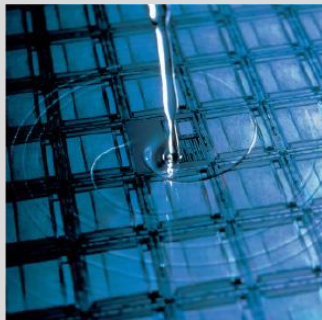
重点施策③



＜高純度無機素材＞

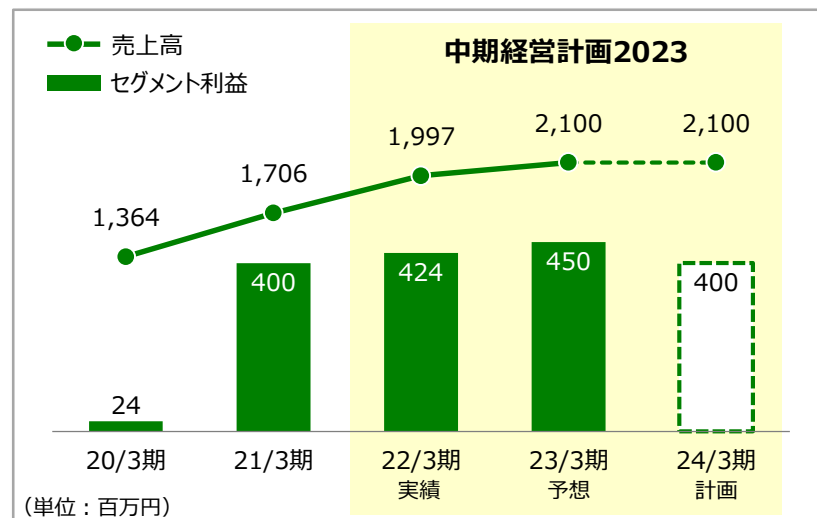


＜放射性ヨウ素吸着剤＞



＜塗布剤＞

電子材料事業



■ 既存事業の強化・領域拡大

- ✓ 高純度無機素材の新規需要開拓
- ✓ 販売・生産の調整、工程改善による収益改善

■ グローバル市場への対応強化

- ✓ 高純度無機素材の海外新規需要開拓
- ✓ 放射性ヨウ素吸着剤（A g X）の海外への継続的販売の実現

■ 新規事業の探索、育成

- ✓ 放射性ヨウ素吸着剤などの研究開発による新規事業探索
- ✓ 塗布剤の用途別製品の拡充

セグメント別基本戦略

	既存事業の強化・領域拡大	グローバル市場への対応強化	新規事業の探索・育成
化成品事業	✓ 半導体向け高純度リン酸の安定操業および販売増 ✓ コンデンサー向け原料増産設備の安定操業と更なる省力化	✓ 台湾子会社 需要拡大への対応（増産投資の実施） ✓ 韓国合併会社との連携強化	✓ 消臭剤の研究開発への注力
機械事業	✓ 震災復興関連（中間貯蔵施設、除染関連事業）の更新需要の取り込み ✓ プラント設備案件の需要の取り込み	✓ 海外販売網との関係強化による下水道向け掘進機の新規市場開拓（東南アジア）	✓ バイオマス熱利用装置の新たな営業展開
電子材料事業	✓ 高純度無機素材の新規需要開拓 ✓ 販売・生産の調整、工程改善による収益改善	✓ 高純度無機素材の海外新規需要開拓 ✓ 放射性ヨウ素吸着剤（AgX）の海外への継続的販売の実現	✓ 放射性ヨウ素吸着剤などの研究開発による新規事業探索 ✓ 塗布剤の用途別製品の拡充

E S Gへの取り組み

E S Gへの取り組みによって、持続的かつ安定的な成長を目指す

【重要なE S G課題】

【当社グループの取り組み】

〈環境〉

E

リサイクルビジネス

(資源の循環利用・再生利用)

- ・プリント基板のエッチング液のリサイクル（化成品）
- ・リサイクルプラント設備の販売（機械）
- ・ガリウム、インジウムのリサイクル（電材）
- ・石油精製用触媒のリサイクル（その他）

水環境の保全ビジネス

- ・上下水道や工場排水の水処理凝集剤の販売（化成品）
- ・上下水道の構築に適した掘進機の販売（機械）
- ・大雨災害対策関連プラント設備の販売（機械）
- ・休廃止鉱山の管理（岩手県、宮崎県の休廃止鉱山での抗排水処理、たい積場管理等）

環境負荷の低減ビジネス

- ・バイオマス熱利用関連設備の販売（機械）
- ・震災関連のガレキ処理プラントや中間貯蔵プラント設備販売（機械）
- ・原発の重大事故発生時の放射性ヨウ素吸着剤の販売（電材）
- ・二次電池向け材料の研究開発（電材）

〈社会〉

S

品質管理 安全衛生 社会貢献

- ・化学品・製品の品質と安全性の確保
- ・保安防災・労働安全衛生の向上
- ・社会・地域との共生

〈ガバナンス〉

G

コーポレートガバナンス コンプライアンス

- ・コーポレートガバナンス体制の充実に取り組み
- ・コンプライアンスの徹底

Sustainability

持続的かつ安定的な
成長の実現

トピックス① 設備投資

台湾子会社における生産能力増強投資

<2022年3月期 完工、2023年3月期 生産開始済み>

台湾連結子会社

会社名 理盛精密科技股份有限公司

(Rasa Technology Taiwan Ltd.)

所在地 台中市梧棲區緯二路1號

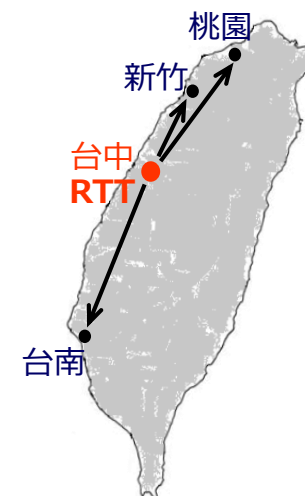
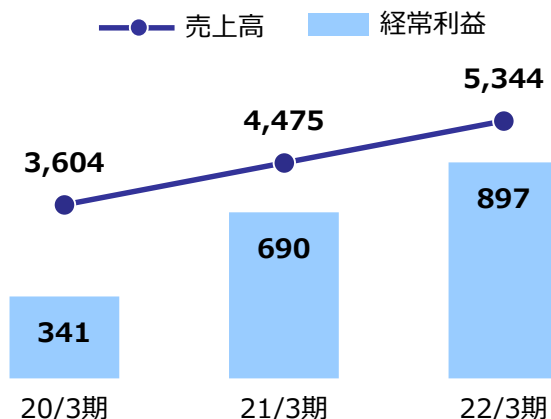
設立 2003年12月17日

投資目的 半導体向け高純度リン酸増産

投資額 20億円

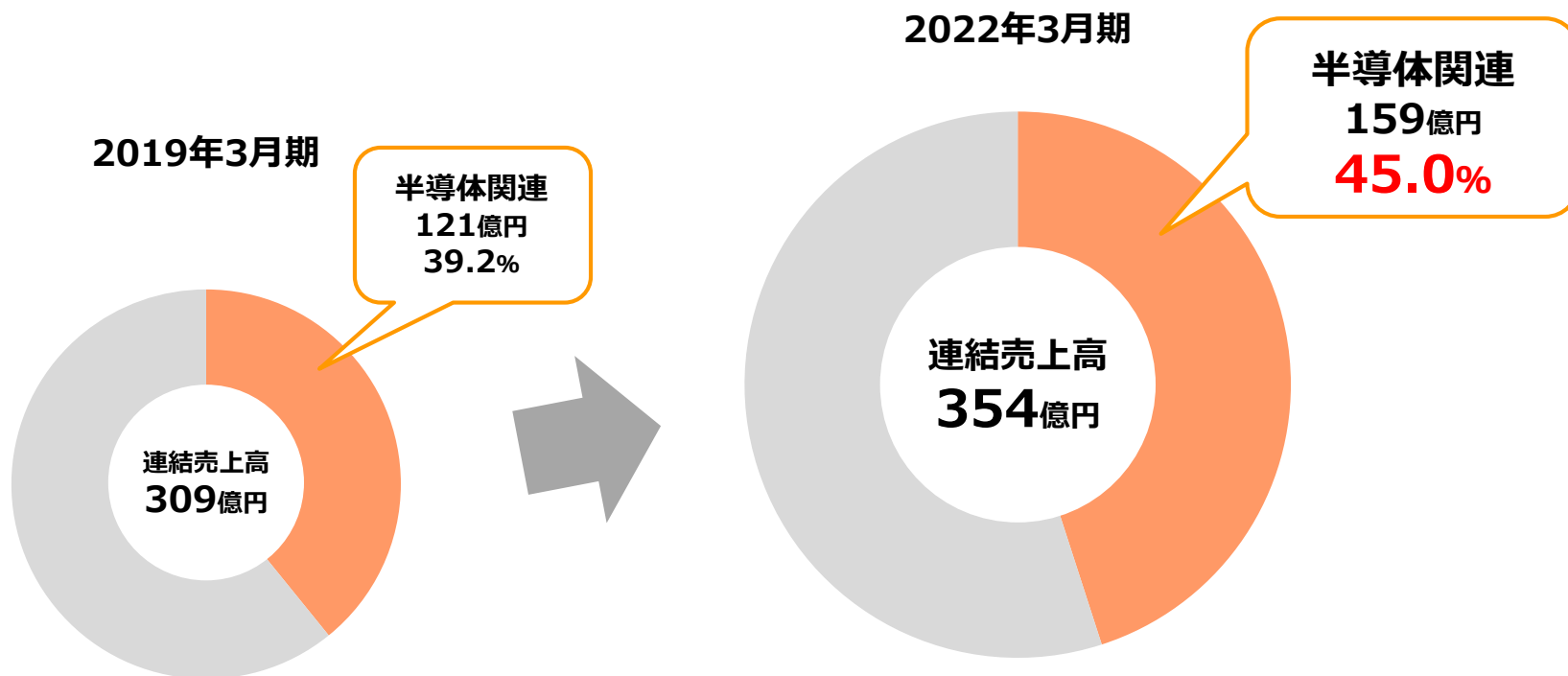
投資効果 台湾の生産能力を約5割増強

(単位：百万円)



トピックス② 伸長する、半導体向け・電子部品向け

半導体関連^(注) 向け売上比率は45.0%まで拡大



(注) 半導体関連売上高は、半導体・電子部品関連向けの販売を集計

本資料に関する注意事項

本資料に記載されている内容は種々の前提に基づいたものであり、将来の数値等に関する記載については、不確実な要素を含んだもののご理解下さい。

－IRに関する問い合わせ窓口－
ラサ工業株式会社 経理部
03-3258-1835